米国の景気循環と株式市場

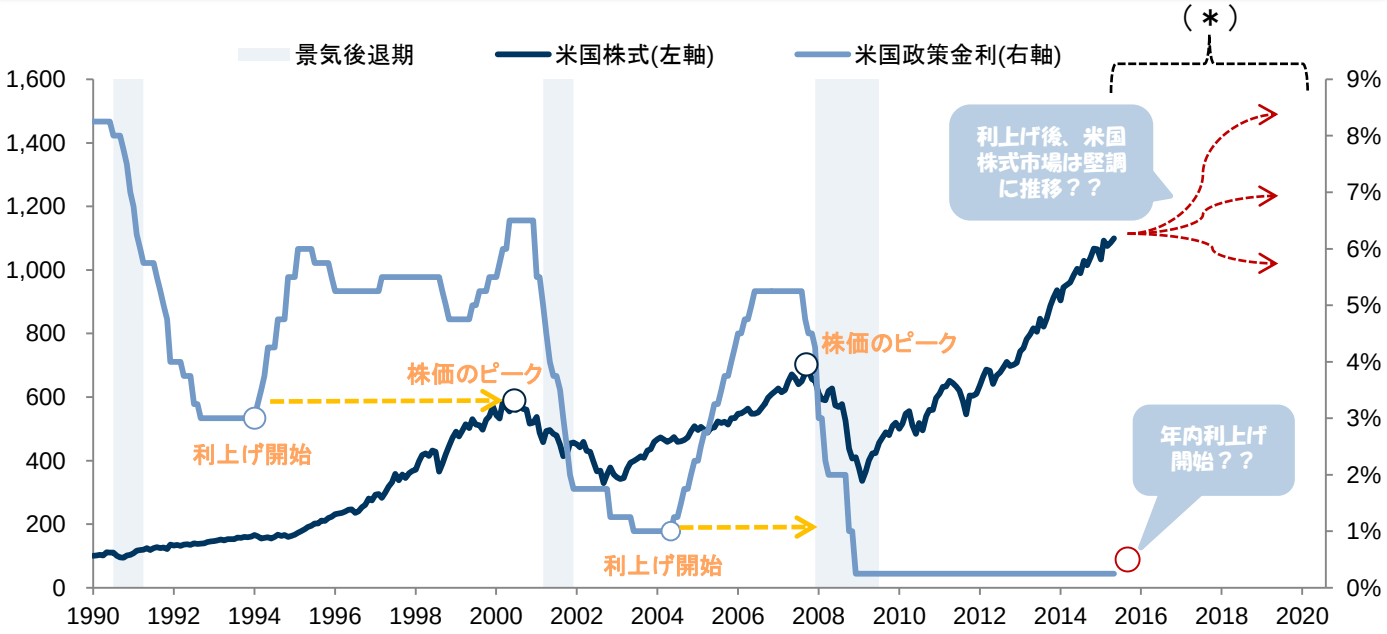
2015年7月2日

情報提供資料

米国の景気循環と株式市場

- 米国経済はリーマンショックをきっかけとする景気後退から回復期に入り約6年が経過しつつあり、足元の米国経済は着実に回復から拡大の局面へと移行しつつあります。
- 市場が注視している政策金利引上げのタイミングですが、6月のFOMCは概してハト派的な内容となったものの、年内の利上げが意識される局面となっています。
- 利上げ開始から株価がピークを迎えるまでの期間は、過去2回のサイクルでは**平均5年**となり、その間の米国株式市場の平均リターンは**年率+16.7%**と堅調に推移しました。金利上昇の背景にある米国経済のファンダメンタルズが良好であることを受け、株価は堅調に推移する傾向にあったと言えます。

米国の景気循環と政策金利



出所: ブルームバーグ、全米経済研究所(NBER) 期間:1990年1月末～2015年5月末　米国株式:S&P500指数(配当込み、米ドルベース)
1990年1月末を100として指数化　　景気後退期はNBERによる景気判断に基づく（＊）に関しては例示を目的としたイメージです。

	期間	累積リターン	年率リターン
利上げ開始1994年2月 ～株価のピーク2000年8月	6年7ヵ月	258.2%	21.4%
利上げ開始2004年6月 ～株価のピーク2007年10月	3年5ヵ月	47.2%	12.0%
平均	5年	152.7%	16.7%

Goldman Sachs Asset Management

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社（以下「弊社」といいます。）が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨（有価証券の取得の勧誘）を目的とするものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された過去のデータは、将来の結果を示唆あるいは保証するものではありません。本資料に記載された見解は情報提供を目的とするものであり、いかなる投資助言を提供するものではなく、また個別銘柄の購入・売却・保有等を推奨するものでもありません。記載された見解は資料作成時点のものであり、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(II)再配布することを禁じます。 © 2015 Goldman Sachs. All rights reserved. <7965-OTU-37177>